


## 南部地区

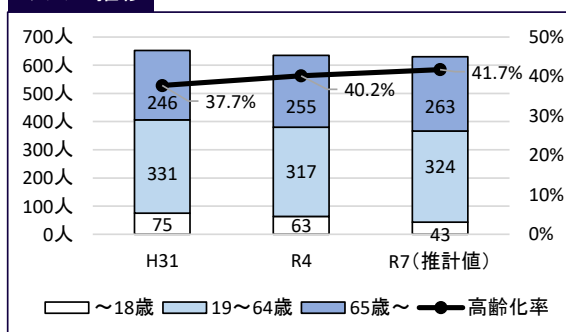
### ◆概要

	【位置図】	まち協名	南部地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市安知本町950-2	電話	0595-83-3117
		地区構成	安知本町 田茂町 楠平尾町		
		地域特性	<p>亀山市南部に位置し、地区内を県道鈴鹿芸濃線、主要地方道亀山白山線、市道野村楠平尾線が通っています。4つの自治会(楠平尾町、安知本町、安知本町上原、田茂町)から構成され、中央に南部地区コミュニティセンターが設置されています。中の川や田茂池、どんど池といった豊かな水資源が田畑を潤し、緑豊かな自然環境を有する山間の地域で、地元ボランティアによる里山整備もされています。亀山市内や津市、鈴鹿市へのアクセスは良好な立地ですが、一方で公共交通が弱い面があります。</p>		
面積	407.7ha	ホームページ	<a href="http://www.za.ztv.ne.jp/nancomi950-2/index.html">http://www.za.ztv.ne.jp/nancomi950-2/index.html</a>		
めざす姿	幅広い年代が一緒になって、さまざまな行事に取り組んでいる				
地域の誇り	子どもからお年寄りまで笑顔で暮らせるまち				

### ◆人口

	平成31年	令和4年	令和7年 (推計値)	増減	
総人口	652人	635人	630人	-17人	
人口密度	1.60人/ha	1.56人/ha	1.55人/ha	-0.04人/ha	
65歳以上	人口	246人	255人	263人	9人
	比率	37.7%	40.2%	41.7%	2.4%
18歳以下	人口	75人	63人	43人	-12人
	比率	11.5%	9.9%	6.8%	-1.6%
外国籍	人口	13人	16人	3人	
	比率	2.0%	2.5%	0.5%	

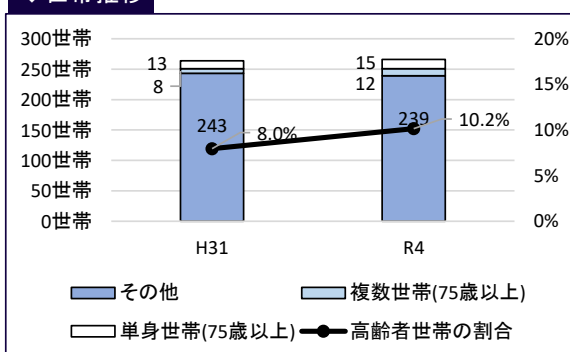
### ◆人口推移



### ◆世帯

	平成31年	令和4年	増減
総世帯	264世帯	266世帯	2世帯
単身世帯 (75歳以上)	13世帯	15世帯	2世帯
複数世帯 (75歳以上)	8世帯	12世帯	4世帯
高齢者世帯割合	8.0%	10.2%	2.2%

### ◆世帯推移



### ◆介護保険認定者

	平成31年	令和4年	増減
要支援1.2	19人	19人	0人
要介護1～5	27人	33人	6人
合計	46人	52人	6人

### ◆地域組織

	平成31年	令和4年	増減
自治会	4	4	0
老人クラブ	1	1	0
子ども会	1	1	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	1
福祉委員	9
介護保険施設・事業所	0
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・診療所	0
歯科	0
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	9

◆担当地域包括支援センター

亀山第1地域包括支援センター ぼたん

◆サロン活動

	平成31年	令和4年	増減
ふれあい・いきいきサロン	2	1	-1
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	1	1	0

◆福祉委員会活動

◆構成員まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員  
自治会長 老人会長

◆活動内容

【交流活動】

三世代交流事業として、ふれあい大運動会を行っています。年2回いきいき「ふれあい」サロンを行っています。

【訪問活動】

70歳以上一人暮らし、75歳以上二人暮らし、体のご不自由な方への定期的な訪問活動を行っています。



ふれあい大運動会



文化・農芸祭

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・納涼盆踊り大会
- ・球技大会
- ・ふれあい大運動会
- ・敬老会
- ・文化・農芸祭
- ・安全対策教室
- ・いきいき「ふれあい」サロン

◆生活支援コーディネーターからのコメント

南部地区の人口は市内で2番目に少ない635人で、そのうち40.2%にあたる255人が65歳以上です。地域内266世帯のうち、10.2%にあたる27世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の2.5%にあたる16人が外国籍です。

地域の特色として、地区内にはスーパーや個人商店などが十分でないため、4カ所に移動販売が来ており、地域の高齢者の生活を支えています。医療機関の受診などには、バスの本数が少ないことやバス停までの距離が遠い住民も多く、高齢化が進む当地区ではやや利用しにくい環境です。まちづくり協議会主催のイベントとしては、例年三世代交流のふれあい大運動会や文化祭の他、防災・防犯にも力を入れており、地震体験車を呼んで安全対策教室を開催されています。今後も、高齢化が顕著に進むことが予想されることから、移動販売等の有効活用とともに、住民同士の顔の見える関係性から支え合える関係性へと展開し、資源と人材を生かしながら、地域の困りごとを住民自らが解決する体制づくりに向けた意識の高まりが期待されます。